

---

# 第55期 株主通信

2023年5月1日 > 2024年4月30日

## Business Report

---



株式会社アインホールディングス

## 株主の皆さまへ

株主の皆さまには、平素より、当社グループに温かいご支援を賜り、厚く御礼を申し上げます。第55期（2023年5月1日から2024年4月30日まで）の決算が終了いたしましたので、ここに事業の概況につきましてご報告申し上げます。

なお、2023年8月31日に公表のとおり、当社及び当社グループ会社元取締役2名が在任中に公契約関係競売入札妨害の容疑で逮捕され、その後起訴、有罪判決を受けるに至りました。本件につきましては、外部専門家のみから構成される調査チームより調査報告書を受領し、2024年5月10日には、調査報告書における再発防止策の提言を踏まえ、具体的な再発防止策や今後の取り組みについて公表しております。また、当社及び当社グループ会社代表取締役計4名の報酬の一部返納を受けております。

この度は、お客さま、お取引先さま及び株主・投資家の皆さまをはじめとする関係者の皆さまに多大なるご心配とご迷惑をおかけしましたこと、改めて深くお詫び申し上げます。

当社においては、さらなるコンプライアンス遵守の徹底及びリスクマネジメント推進体制の一層の強化を図り、再発防止策にグループ全社一丸となって取り組むことで、ステークホルダーの皆さまからの早期の信頼回復に努めてまいります。

当社のコンプライアンス推進体制及びリスクマネジメント推進体制につきましては、下記の当社ウェブサイトに掲載しておりますのでご確認の程よろしく申し上げます。

<https://www.ainj.co.jp/corporate/sustainability/governance/>



代表取締役社長

大谷 喜一



今期の業績はいかがでしたか。

各事業の新規出店及び既存店の伸長により、売上高は、前期比111.5%、計画比102.4%。経常利益は、前期比125.3%、計画比110.5%となりました。

ファーマシー事業におきましては、M&Aを含む新規出店の寄与、前期出店及び既存店の伸長により、売上高は前期比11.2%増の3,575億7千1百万円となりました。

リテール事業におきましては、前期出店及び既存店の売上高が堅調に推移し、売上高は前期比21.1%増の311億1千1百万円となりました。

その結果、連結の売上高は、3,998億2千4百万円（前期比11.5%増）となり、経常利益は213億7千7百万円（同25.3%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は114億1百万円（同23.5%増）となりました。

また、グループ店舗総数はM&Aを含めた46店舗の出店と、店舗運営の見直しによる21店舗の閉店・譲渡により、1,312店舗（同25店舗増）（※）となりました。

（※）2024年4月期末時点



ファーマシー事業の展開についてどのようにお考えですか。

「かかりつけ薬剤師・薬局」としての機能強化を継続するとともに、事業規模の拡大に備え、人材育成・採用を一層強化してまいります。

「かかりつけ薬剤師・薬局」としての機能を発揮するべく、地域医療連携、お薬手帳等を活用した薬剤に関する情報の一元的・継続的な把握とそれに基づく薬学的管理・指導の強化を行うとともに、オンライン服薬指導、在宅医療への対応、専門薬剤師の育成を通じ、患者さまが住み慣れた地域で安心して医療を受けられるよう取り組んでおります。また、2024年4月は532名の薬剤師を採用し、来年も出店加速による事業規模拡大に備え、600名の採用を計画しております。

営業開発においては、積極的な出店とM&Aの活用により、さらなる事業規模の拡大と店舗運営の効率化を推進しております。

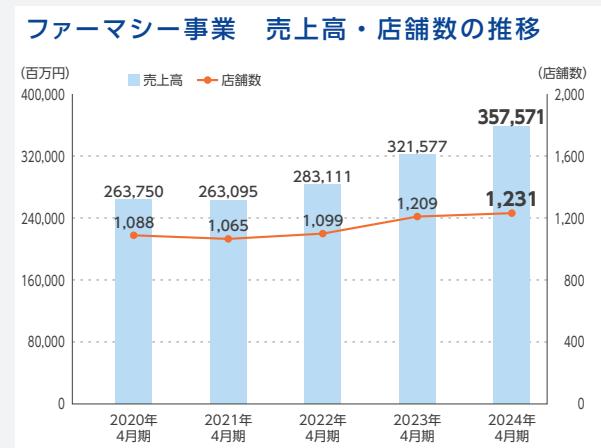


リテール事業の展開についてどのようにお考えですか。

「アインズ&トルペ」の強みであるコスメ関連商品により力を入れることに加え、新しく当社グループに迎えた「Francfranc」とのシナジーを発揮し、事業拡大及び顧客の利便性向上を目指してまいります。

「アインズ&トルペ」では、商品構成の90%をコスメ関連商品に絞り込むことで一般的なドラッグストアとの差別化と豊富な品揃えを実現しつつ、店舗ごとにより売場をつくり上げる独自の店舗オペレーションを推進し、高い営業利益率を実現しております。

2024年7月3日に公表の通り、当社グループに株式会社Francfrancを迎えることとなりました。今後の当社リテール事業は、「アインズ&トルペ」「Francfranc」の2ブランドを中心とし、既存の両ブランドにおけるシナジーのみならず、新規領域においても、それぞれのノウハウを活用した満足度が高く魅力的なPB商品の開発、店舗を活かした出店戦略の推進、さらに両ブランドの強みを活かした新たな業態の開発も検討していきます。



## 売上高 3,998億2千4百万円



売上高  
**11.5%**増

### 新規出店及び既存店の伸長により、24年連続増収を達成

各事業の新規出店及び既存店の伸長により、売上高は、前期比11.5%増と24年連続増収を達成いたしました。

## 経常利益 213億7千7百万円



経常利益  
**25.3%**増

### 売上高増加により、経常利益は25.3%増

ファーマシー事業の処方箋枚数の増加、単価の上昇、リテール事業のアジアンコスメの売上伸長により、経常利益は、前期比25.3%の増益となりました。

## 親会社株主に帰属する当期純利益 114億1百万円



親会社株主に帰属する当期純利益  
**23.5%**増

### 好立地への出店、業務効率化を継続的に推進し、より一層の利益創出へ

親会社株主に帰属する当期純利益は前期比23.5%増となりました。今後も出店の拡大及び業務効率化を継続し、さらなる利益の確保を続けてまいります。

## 純資産 / 総資産 / 自己資本比率



純資産  
**7.0%**増

### 健全な財務体質を維持

純資産は前期比7.0%増、総資産は前期比7.6%増となりました。自己資本比率は54.3%となりましたが、依然として健全な財務体質を維持しております。

## 1株当たり純資産 / 1株当たり当期純利益



1株当たり純資産  
**7.4%**増

### 経営の健全性及び安定性を確保

1株当たり当期純利益は前期比23.5%増、1株当たり純資産は前期比7.4%増となり、継続的に経営の健全性及び安定性を確保しております。

## 1株当たり配当金 / 配当性向



1株当たり配当金  
**80円**

### 1株当たり配当金は80円に増配

1株当たり配当金は80円に増配し、配当性向は24.6%となりました。これからも継続的な企業成長により、株主の皆さまへの還元を行ってまいります。



2024年4月期は、新型コロナウイルス感染症治療薬を含めた高額医薬品処方への対応が増加傾向にあることで処方箋単価が上昇するとともに、新型コロナウイルス感染症の位置づけが5類感染症へ移行したことによる外来受診抑制の緩和に加え、かかりつけ薬剤師・薬局としての機能強化や待ち時間短縮等の患者さまサービス向上により処方箋枚数についても増加いたしました。

2024年4月期は、M&Aを含め、40店舗を出店し、18店舗を閉店・譲渡した結果、調剤薬局総数は1,231店舗となり、売上高は、3,575億7千1百万円（前期比11.2%増）、セグメント利益は275億8千7百万円（同14.3%増）となりました。

## TOPICS

### 令和6年能登半島地震への対応

令和6年能登半島地震により、被災された皆さまや関係する方々に対しまして、心よりお見舞い申し上げます。当社グループでは、1月1日発災後、薬局の復旧活動、地域の災害拠点病院への薬剤師の派遣、薬を持たずに避難した患者さまからの問い合わせへの対応等、地域医療の復旧に取り組みました。今後も、地域の皆さまへのさらなる貢献により、社会的使命を果たしてまいります。

#### ■ 薬のお届け

震災による道路状況の悪化と大雪による全面通行止め等が実施されている中、患者さまのお問い合わせを受けて、自宅や避難所へ薬をお届けし、服薬指導を実施いたしました。

#### ■ 薬剤師等の人的支援

地域医療を支えるべく、被災地区店舗の営業と復旧に加え、災害支援薬剤師の派遣登録をいたしました。

#### ■ 支援金

地震による甚大な被害の1日も早い復旧及び復興のため、各被災地区自治体へ総額3,500万円の支援を実施いたしました。



店舗被害状況 アイン薬局 七尾店（石川県）

### 全国各地に出店

2024年4月期は、M&Aを含め全国各地に40店舗を出店いたしました。今後も、利便性の高い立地へ出店するとともに、患者さまが住み慣れた地域で安心して医療を受けることができるよう、「かかりつけ薬剤師・薬局」としての機能強化を推進してまいります。



アイン薬局 NTT東日本札幌病院店（北海道）



アイン薬局 小樽市立病院店（北海道）



アイン薬局 山梨大病院店（山梨県）



アイン薬局 九大南店（福岡県）



「アインズ&トルペ」は、コスメを中心とした専門性の高い品揃えと、最新コスメトレンドを発信するトータルビューティショップとして、全国主要都市部の商業施設・駅ビル等、集客力の高い立地で店舗展開をしております。

国内外の人流の回復により客数が堅調に推移し、顧客の購買傾向が感染対策商品から当社の強みであるコスメ関連商品等へ変化していることで単価が上昇いたしました。中でも、独占・先行販売等の施策により注力しているアジアンコスメの売上が伸長したことで、売上高は311億1千1百万円（前期比21.1%増）、セグメント利益は30億9千6百万円（同155.1%増）となりました。

また、2024年4月期は6店舗を出店し、3店舗を閉店した結果、リテール事業の店舗総数は81店舗となりました。

## TOPICS

## VT COSMETICS

## [VT コラーゲン リードルショット 100]

## 独占販売

当社は、全国のアインズ&トルペの店舗にて韓国の人気化粧品メーカーであるVT COSMETICSから発売された「VT コラーゲン リードルショット 100」の国内独占販売を行っております。2023年7月から日本国内販売を開始し、約3ヶ月で累計販売本数100万本を突破\*1した「VTリードルショット」シリーズ。独自成分「CICA REEDLE™（シカリードル™）\*2」配合で、美容液を通す道を作る、チクチク、ピリピリとした感覚が「痛いコスメ」と話題の美容液のコラーゲン入り商品です。今後も、アインズ&トルペならではの商品を取りそろえ、お客さまにワクワクしていただけるお店づくりに注力してまいります。



VT コラーゲン リードルショット 100 (50ml)  
税抜4,400円 (税込4,840円)

\*17月の販売から約3か月で累計販売本数が100万本突破（2023年10月31日時点）VTCOSMETICS自社出荷基準

\*2ツボクサエキス（整肌）、シリカ（スクラブ）

## 都市部を中心に旗艦店を出店

アインズ&トルペでは、お越しいただけるお客さまのニーズに応えるための商品展開・売り場づくりを各店舗で実施しております。また、商品や売り場は常にスピード感を持って更新しており、ご来店いただくたびに新しい発見ができ、「いつ来ても楽しい」と感じていただけるような空間の提供を目指しております。今期はココノススキノ店、横浜ポルタ店等計6店舗を出店いたしました。今後も都市部を中心に店舗を行ってまいります。



アインズ&トルペ ココノススキノ店（北海道）



アインズ&トルペ 横浜ポルタ店（神奈川県）



アインズ&トルペ ココリア多摩センター店（東京都）



アインズ&トルペ デュオこうべ店（兵庫県）

最新情報

- 株式会社Francfrancの当社グループ入りについて -

2024年7月3日に公表の通り、当社は株式会社Francfrancの株式譲受に関する契約を締結いたしました。株式会社Francfrancは、創業以来、20代～30代の女性を中心とする幅広い層のお客さまをターゲットとした主力ブランド「Francfranc」を中心にインテリア・雑貨小売販売事業を展開しており、国内152店舗、海外9店舗の店舗運営及びECを通じて、都会的かつ洗練されたライフスタイル提案を実践しており、SPA型（※1）商品が90%を占めております。当社のリテール事業においては、お客さまのニーズに応えるオンリーワンのトータルビューティショップとして、常に新鮮なコスメ&ビューティアイテムを楽しく選べる場を提供することを目指しているコスメ&ドラッグストア「アインズ&トルペ」を展開し、コスメを中心とした独自性のある商品構成とすることで他社店舗との明確な差別化を図るとともに、更なる拡大を進めております。「Francfranc」と「アインズ&トルペ」とは、出店エリア、主要な顧客層及びその価値観に類似性がある一方で、販売する商品のカテゴリーは異なる部門を得意とする補完関係にあることから、当社グループに「Francfranc」を迎えることにより、クロスマーチャンダイジング（※2）、新業態店舗等を含む戦略的な店舗開発、ノウハウの共有による魅力的な商品開発等の両社の強みを活かしたシナジーを発揮できると考えております。

- （※1）SPA：「製造小売業（Speciality store retailer of Private label Apparel）」の略。  
商品の企画から生産、販売までの機能を垂直統合したビジネスモデルである製造小売業。
- （※2）異なる商品カテゴリーを強みとする両社の店舗が、互いのプライベート商品を陳列し、顧客に対して、幅広い商品選択肢を提示することで、顧客満足度及び顧客単価の向上が可能。

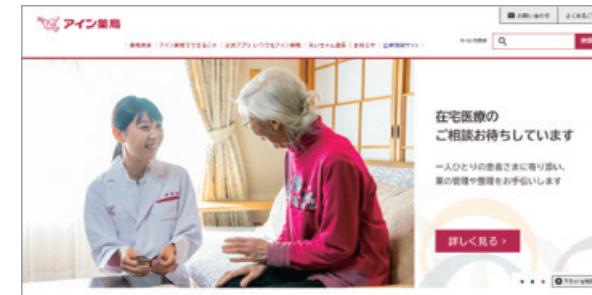
Francfranc × AINZ & TULPE



札幌ステラプレイスに出店している「Francfranc」「アインズ&トルペ」

ウェブサイトのリニューアルを行いました

2023年8月21日より、当社ウェブサイトのリニューアルを行いました。さまざまな方にご利用いただけるよう、使いやすさ、見やすさに配慮したデザインや構成に刷新いたしました。また、ファーマシー事業のお客さまサイトと企業情報サイトを設けることにより、当社ウェブサイトをご利用される方のニーズに合わせた情報発信が可能となりました。当社グループでは、今後も各コンテンツの充実と積極的な情報発信により、ステークホルダーの皆さまのお役に立てる情報をお届けできるように努めてまいります。



お客さまサイト (https://www.ainj.co.jp/)



企業情報サイト (https://www.ainj.co.jp/corporate/)

公式アプリの新CMを作成いたしました

2024年8月より、当社の公式アプリ「いつでもアイン薬局」の新CMの放映を予定しております。あらかじめ処方箋の画像を撮影・薬局に送信してからご来局いただくことで、薬局での待ち時間を短縮することができる“処方箋送信機能”を紹介するCMを作成いたしました。今後も、当社グループだからこそできるサービスの提供を追求していきます。



いつでもアイン薬局



新CM 公式アプリ「いつでもアイン薬局」利用者の本音篇

## アイングループのサステナビリティ経営

- すべては、お客様の元気と笑顔のために -

アイングループは、人々の健康や美に貢献する事業を通じ、グループ・ステートメントでもある「お客様の元気と笑顔」を実現し続けるため、良識と倫理観を持った企業活動を行ってまいりました。これからも、お客様をはじめ多様なステークホルダーの皆さまのことを考え、自ら変化し行動することで、企業の持続的な成長と、社会・環境・経済価値を創出し、サステナビリティ経営を実現いたします。

### ■ 当社グループの6つのマテリアリティ（重要課題）とSDGs達成への貢献

マテリアリティ	取り組み	関連するSDGs
地域医療への貢献	医療サービスの質向上と新しい仕組みづくりへの挑戦 医療費抑制 災害レジリエンス	1 貧困の解消, 3 持続可能な健康と福祉, 4 質の高い教育をみんなに, 8 豊かさをみんなに実感, 9 産業と雇用を創出, 10 人や国ごとの格差をなくす, 11 持続可能な都市とコミュニティ, 12 つながる未来, 14 海の豊かさを守ろう, 15 陸の豊かさも守ろう, 17 パートnership for development
美しさと健やかさの提供	美しくいたい人々のエンパワーメントの推進 革新的なオリジナル商品の開発	3 持続可能な健康と福祉, 5 性別平等, 8 豊かさをみんなに実感, 12 つながる未来, 13 気候変動に具体的な対策を, 14 海の豊かさを守ろう, 15 陸の豊かさも守ろう
安全・安心と信頼	品質・安全性の強化	SDGs動文 すべての人々の人権の実現, 3 持続可能な健康と福祉, 8 豊かさをみんなに実感, 12 つながる未来
環境保護・負荷低減	気候変動課題への対応 廃棄物の削減	3 持続可能な健康と福祉, 7 持続可能なエネルギー, 12 つながる未来, 13 気候変動に具体的な対策を, 14 海の豊かさを守ろう, 15 陸の豊かさも守ろう, 17 パートnership for development
健全な経営基盤	人権尊重 ダイバーシティ&インクルージョン <a href="#">P12ご参照</a> 健康経営 情報セキュリティ ステークホルダー・エンゲージメントとコーポレート・ガバナンスの強化 <a href="#">P12ご参照</a>	SDGs動文 すべての人々の人権の実現, 3 持続可能な健康と福祉, 4 質の高い教育をみんなに, 5 性別平等, 8 豊かさをみんなに実感, 10 人や国ごとの格差をなくす, 16 平和と公正な社会を築こう
地域社会・取引先との連携	地域における健康推進活動 CSR調達への導入 サプライチェーンとの協働による環境負荷軽減への取り組み	3 持続可能な健康と福祉, 4 質の高い教育をみんなに, 8 豊かさをみんなに実感, 12 つながる未来, 13 気候変動に具体的な対策を, 17 パートnership for development

CSV 社会課題の解決にビジネスとして取り組み、経済的価値と社会的価値を同時に創出するという考え方

E Environment (環境) S Social (社会) G Governance (ガバナンス)

## ステークホルダー・エンゲージメント

外部有識者をお招きし、ダイアログを開催しました。当社グループの事業活動や、サステナビリティ・ESGへの取り組みをさらに深化させ、企業の持続的な成長と、持続可能な社会を実現するサステナビリティ経営を推進し続けるため、いただいた評価や意見を真摯に受け止め、経営やさまざまな取り組みに活用してまいります。



## ダイバーシティ&インクルージョン 女性の活躍推進

当社グループは社員の約80%が女性であり、さまざまな分野で活躍しております。今後も女性が能力を発揮できるような環境を整えていくと同時に、仕事と子育ての両立も、積極的にサポートしていきます。

### ■ 女性管理職比率

管理職(全体) 36.8%

執行役員 14.3%

▶2024年4月末時点

▶管理職(全体): 本部の係長職以上及び薬局長、店長

### ■ 産休・育休・育児短時間勤務取得者

産前産後休暇 435名

育児休業 735名 (男性40名)

育児短時間勤務 1,100名

## LGBTQに関する取り組み

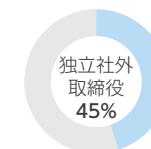
株式会社アインホールディングス及び株式会社アインファーマシーズは、2024年5月、LGBTに関する取り組みを推進する企業として「札幌市LGBTフレンドリー企業」に登録されました。当社グループでは、LGBTQに関する基本方針の策定をはじめ、研修・啓発、相談体制や福利厚生を整備、当事者への配慮等の取り組みを実施しております。



## コーポレート・ガバナンスの強化

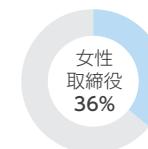
コンプライアンスを最重要視した健全かつ透明な事業活動の継続のため、取締役会の機能発揮と多様性の確保を強化しております。

### ■ 独立社外取締役比率



▶独立社外取締役比率、女性取締役比率: 2024年7月30日時点

### ■ 女性取締役比率



### ■ 取締役会出席比率



▶取締役会出席比率: 2024年4月期

## 外部評価

プラチナくるみ 認定



健康経営優良法人 ホワイト500認定



CDP気候変動 [B] スコア取得



MSCI ESGレーティング [A] 評価獲得



詳細はこちらからご確認ください。



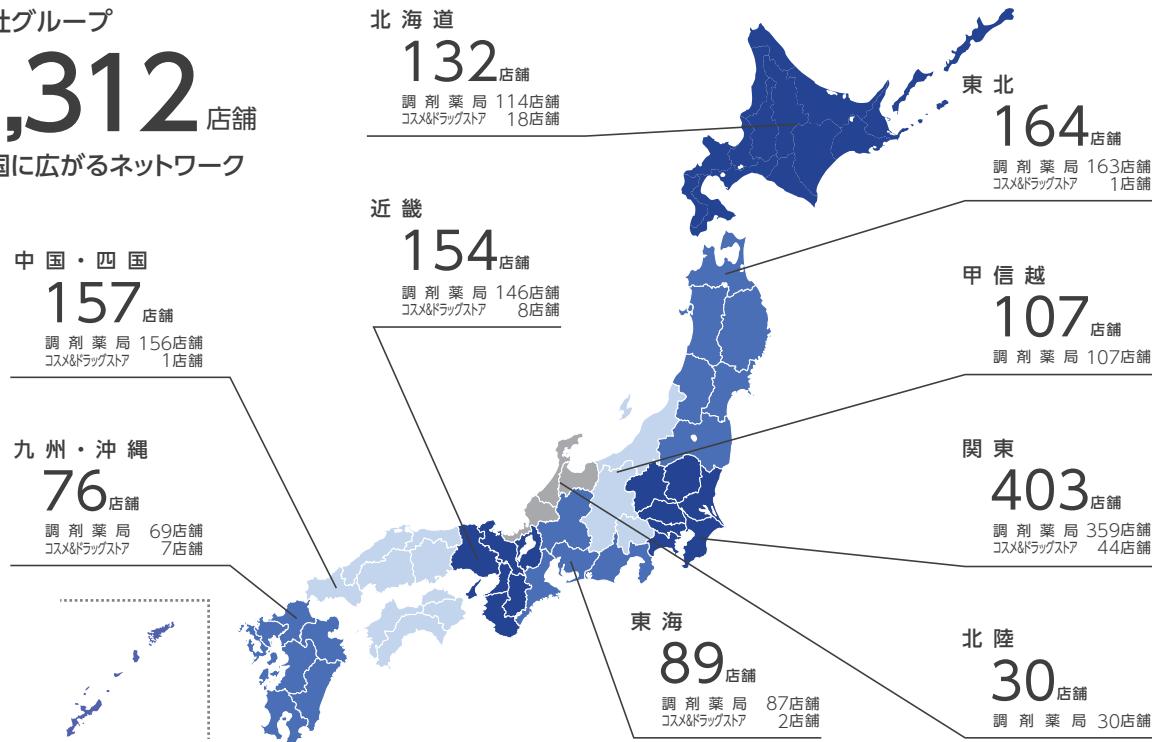
## 会社概要

(2024年4月期末現在)

商号	株式会社アインホールディングス	役員構成	代表取締役社長	大谷 喜一
	札幌市白石区東札幌5条2丁目4番30号 TEL (011) 814-1000 (代表)		代表取締役専務	首藤 正一
本社	1969年8月	設立	代表取締役専務	水島 利英
			代表取締役専務	大石 美也
資本金	218億94百万円	従業員	取締役	木明 理絵子
			取締役	高倉 信行
事業内容	15,114名 (パート含む) (グループ連結)	調剤薬局・コスメ&ドラッグストアの経営、ジェネリック医薬品の卸売販売、化粧品の販売、売店の経営等、各事業を中心とした企業グループの企画・管理・運営	取締役 (社外)	遠藤 典子
			取締役 (社外)	栗山 英樹
			取締役 (社外)	綿引 万里子
			取締役 (社外)	服部 暢達
			取締役 (社外)	木村 成樹
			常勤監査役	川村 幸一
			監査役 (社外)	佐野 綾子
			監査役 (社外)	水谷 美奈子

(2024年7月30日現在)

当社グループ  
**1,312** 店舗  
全国に広がるネットワーク



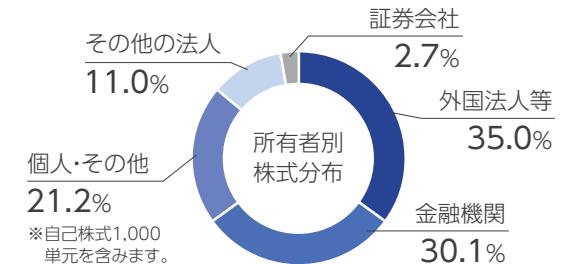
## 株式の状況

(2024年4月末現在)

AIN HOLDINGS INC.

発行可能株式総数 ..... 44,000,000株  
発行済株式の総数 ..... 35,428,212株  
株主数 ..... 16,145名  
大株主 (上位10名)

株主名	持株数 千株	持株比率 %
大谷 喜一	3,239	9.17
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	3,116	8.82
株式会社セブン&アイ・ホールディングス	2,750	7.78
OASIS JAPAN STRATEGIC FUND LTD.	2,633	7.45
OASIS INVESTMENTS II MASTER FUND LTD.	1,911	5.41
株式会社北洋銀行	1,743	4.94
みずほ信託銀行株式会社退職給付信託 丸紅口	1,594	4.51
株式会社北海道銀行	1,472	4.17
株式会社日本カストディ銀行 (信託口)	953	2.70
Oasis Japan Strategic Fund Ltd.	729	2.07



▶持株比率は自己株式 (100,091株) を控除して計算しております。  
▶みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 丸紅口の所有株式は、丸紅株式会社が退職給付信託として拠出したものであります。  
▶2023年6月16日付で公衆の縦覧に供されている大量保有報告書 (変更報告書) において、スプラウスグループ・インベストメント・マネジメント・リミテッドが2023年6月12日現在で4,451千株 (株券等保有割合12.57%) の株式を保有している旨が記載されているもの、当社として当事業年度末時点における実質保有株式数の確認ができませんので、左記大株主の状況は、株主名簿上の保有株式数に基づき記載しております。  
▶2024年5月1日付で公衆の縦覧に供されている大量保有報告書 (変更報告書) において、オアシス・マネジメント・カンパニー・リミテッドが2024年4月23日現在で5,274千株 (株券等保有割合14.89%) の株式を保有している旨が記載されているもの、当社として当事業年度末時点における実質保有株式数の確認ができませんので、左記大株主の状況は、株主名簿上の保有株式数に基づき記載しております。

## 株主メモ

事業年度 毎年5月1日から翌年4月30日まで  
定時株主総会 毎年7月開催  
基準日 毎年4月30日 その他、必要がある場合は、あらかじめ公告して定めます。  
配当金受領株主確定日 毎年4月30日 なお、中間配当を実施する場合の中間配当金受領株主確定日は、10月31日です。  
1単元の株式数 100株  
株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目3番3号 みずほ信託銀行株式会社  
同事務取扱場所 東京都千代田区丸の内一丁目3番3号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部

	証券会社等で株式を保有されている場合	証券会社等で株式を保有されていない場合 (特別口座の場合)
住所変更、株式配当金受取り方法の変更及びマイナンバーのお届出などのお問い合わせ	お取引の証券会社等になります。	当社の特別口座の口座管理機関 みずほ信託銀行へお問い合わせ願います。 みずほ信託銀行 証券代行部 ホームページ <a href="https://www.mizuho-tb.co.jp/daikou/index.html">https://www.mizuho-tb.co.jp/daikou/index.html</a> フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く 9:00~17:00)
未払配当金、その他当社株式関係書類についてのお問い合わせ	右記みずほ信託銀行までお問い合わせ願います。	電子提供制度専用ダイヤル 0120-524-324 (土・日・祝日を除く 9:00~17:00)
株主総会資料の電子提供制度 (書面交付請求) についてのお問い合わせ	お取引の証券会社または右記みずほ信託銀行までお問い合わせ願います。	
ご注意		特別口座では、単元未満株式の買取・買増以外の株式売買はできません。株式の売買にあたっては、証券会社等に口座を開設し、株式の口座振替手続を行っていただく必要があります。
株式等に関するマイナンバーのお届出のお願い	・株式等の税務関係のお手続に関しては、マイナンバーのお届出が必要です。 ・お届出が済んでいない株主さまは、上記お問い合わせ先へマイナンバーのお届出をお願いいたします。	

公告方法 電子公告により行い、公告掲載場所は当社のホームページ (<https://www.ainj.co.jp/>) といたします。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができないときは、日本経済新聞に掲載いたします。

## アイングループ公式アプリのご紹介



# いつでもアイン薬局

- | 薬局での待ち時間を短縮
- | ご自宅で薬の受け取り
- | チャットで気軽にお薬相談

**「すぐそばに薬局があるような安心感」**

iPhone®用

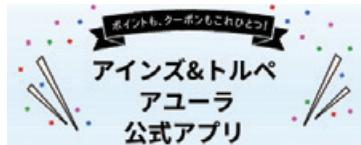


Android™用



LINEでも  
処方箋送信が使えます

LINE用



- | クーポン、お知らせ配信  
新商品、おすすめ商品のご紹介のほか  
X (旧Twitter)、Instagramと連動したキャンペーンも！
- | ポイント、購入履歴確認  
WEBSTOREと連携すれば  
ポイントも履歴もまとまる♪

当社ウェブサイト(<https://ainz-tulpe.jp/app>)でも  
ご紹介しております



※一部対応していない機種があります。※アプリのダウンロードには、別途パケット通信料がかかります。

UD FONT

見やすいユニバーサルデザイン  
フォントを採用しています。